

科目名 (科目番号)	解剖学実習 (061143)	教員名	向後和典 山本竜也 澤田和彦	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				オフィスアワー		各教員研究室		
授業概要	「人体の構造」「運動器系神経系の解剖学」などの講義を通じて得た知識を基に、模型や標本の観察、体表観察、触察、小動物の解剖等の実習を通して理学療法士として必要な解剖学の知識について、より深く理解する。特に運動器系(骨格系、筋系)については模型・体表観察、触察を通じて身体における位置とその個人差について学習する。また、総括として人体解剖標本の見学実習を行う。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分理解しておくこと。							
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標					
	1	体表解剖①	到達目標:筋・骨を中心に人体の体表から観察および触察が可能な主な構造物を指し示すことができる。 実習内容:自身あるいは友人の身体を用いて全身を観察・触察する。					
	2	筋・骨格系①(頭蓋)	到達目標:神経頭蓋および顔面頭蓋を構成する骨の構成と構造の詳細について、骨標本を用いて説明できる。 実習内容:頭蓋の骨標本を観察・スケッチする。					
	3	筋・骨格系②(体幹)	到達目標:体幹の筋・骨格系の構成と構造の詳細について、骨・筋模型標本を用いて説明できる。 実習内容:体幹の骨・筋模型標本を観察・スケッチする。					
	4	筋・骨格系③(上肢Ⅰ)	到達目標:上肢の筋・骨格系の構成と構造の詳細について、骨・筋模型標本を用いて説明できる。 実習内容:上肢の骨・筋模型標本を観察・スケッチする。					
	5	筋・骨格系④(上肢Ⅱ)	到達目標:上肢の筋・骨格系の構成と構造の詳細について、自身あるいは友人の身体を用いて説明できる。 実習内容:自身あるいは友人の身体を用いて上肢の筋・骨格系を観察・触察する。					
	6	筋・骨格系⑤(下肢Ⅰ)	到達目標:下肢の筋・骨格系の構成と構造の詳細について、骨・筋模型標本を用いて説明できる。 実習内容:下肢の骨・筋模型標本を観察・スケッチする。					
	7	筋・骨格系⑥(下肢Ⅱ)	到達目標:下肢の筋・骨格系の構成と構造の詳細について、自身あるいは友人の身体を用いて説明できる。 実習内容:自身あるいは友人の身体を用いて下肢の筋・骨格系を観察・触察する。					
	8	中枢神経系①	到達目標:脳の構造(外側面・内側面)について説明できる。 実習内容:脳模型及び写真標本を用いて観察・スケッチする。					
	9	中枢神経系②	到達目標:脳の構造(冠状断・水平断)について説明できる。 実習内容:脳模型及び写真標本を用いて観察・スケッチする。					
	10	末梢神経系	到達目標:各末梢神経系の名称や走行について説明できる。 実習内容:末梢神経系模型を用いて観察・スケッチする。					
	11	感覚器	到達目標:視覚・聴覚・平衡覚に関与する構造について説明できる。 実習内容:眼及び耳の模型を用いて観察・スケッチする。					
	12	血管系	到達目標:各動静脈の名称や走行について説明できる。 実習内容:血管系模型を用いて観察・スケッチする。					
	13	体表解剖②	到達目標:筋・骨格系に加え、脈管系、神経系の構造物について人体の体表から観察および触察が可能な主なものを指し示すことができる。 実習内容:自身あるいは友人の身体を観察・触察する。					
	14	小動物の解剖(澤田)	到達目標:胸腔および腹腔内の臓器の原位置、構造、有機的な繋がりについて系統立てて説明ができる。 実習内容:小動物を解剖し、胸腔および腹腔内の臓器を肉眼解剖的に観察する。					
15	人体解剖見学実習(澤田)	到達目標:人体の主な臓器の原位置と肉眼解剖的構造について解剖体を用いて説明できる。 実習内容:筑波大学医学部で人体の解剖体標本を肉眼解剖的に観察する。						
成績評価の方法・基準	レポート(90%)および到達度テスト(10%)							
教科書	よくわかる筋の機能解剖 第2版 改訂版ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖 ボディ・ナビゲーション 書いて覚える身体解剖ノート 第2版		足立和隆・翻訳 阪本桂造・監訳 Andrew Biel			メディカルサイエンスインターナショナル 医道の日本社 医道の日本社		
参考図書	解剖学 澤田和彦・坂田ひろみ 編著 理工図書							
教員からのメッセージ	実習中は構造をしっかりと観察することを重視してください。また、他の関連科目(「人体の構造」、「運動器系・神経系の解剖学」など)の内容との関連付けを意識しながら授業に臨んでください。レポートはコメント等を付し返却いたします。							